

## 令和5年度国立那須甲子青少年自然の家の家教育事業

### 自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成研修 報告書

#### 1. 趣旨

全国体験活動指導者認定委員会が定めた「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。

#### 2. 期日

1回目：令和5年9月9日（土）

2回目：令和5年9月16日（土）～17日（日）

#### 3. 会場

1回目：郡山女子大学短期大学部（福島県郡山市開成3丁目25-2）

2回目：国立那須甲子青少年自然の家（福島県西白河郡西郷村大字真船字村火6-1）

#### 4. 参加者

46名

#### 5. 講師

柴田 卓氏（郡山女子大学短期大学部 准教授）

新田 一樹（国立那須甲子青少年交流の家 事業推進係）

杉本 守（国立那須甲子青少年交流の家 事業推進係）※主任講師

#### 6. 主な活動内容

##### （1）自然体験活動の特質（演習）

カモフラージュやサウンドマップ、フィールドビンゴなどのネイチャーゲームを実施した。参加者は実際にネイチャーゲームを体験しながら、自然の家の活動エリアの自然環境について学ぶとともに、五感を使って自然とかかわることの重要性について理解を深めた。参加者からは「ネイチャーゲームを通して、自然体験活動の意義や課題について考えることができた」「外遊びというと遊び方が限られてしまっていたが、自然の中でこんなにも楽しめる活動があるのだと新しい学びがあった」「今の子どもたちには何が必要なのかを考えるきっかけとなった」などの感想が寄せられた。



図1 ネイチャーゲーム

##### （2）青少年教育における体験活動（講義）

青少年教育の概要や役割、体験活動の種類や意義についての講義を行った。QuestionProを用いて双方向型の講義となるようにし、参加者が現代の青少年の育つ環境や学校以外での学びの場

などを主体的に考えることができるようにした。参加者からは「体験活動の意義や青少年の課題について学ぶことができた」などの感想が寄せられた。

### (3) 自然体験活動の技術（演習）

キャンプファイヤーと野外炊事を行った。演習では最初に基礎的事項を講師より説明・指導し、その後参加者が実際に活動を行うという流れで実施した。キャンプファイヤーでは、1回目に班ごとにレクゲームを準備するよう課題を与え、2回目で実際に行うという形をとった。参加者からは「フィールドの環境や状況、物を生かして活動することの重要性を学んだ」「火のつけ方だけでなく、オンオフの切り替えなど、保育でも役立つことがあり学びが深まった」などの感想が寄せられた。



図2 講義



図3 野外炊事

## 7. 事業の成果と課題

### (1) 成果

- ・ 参加者全員が認定試験に合格したことで、46名の自然体験活動指導者を養成することができた。
- ・ 保育者養成校と連携して事業を行ったことで、自然体験活動に関する一定の知識・技能を習得した者が将来保育現場で働くこととなり、幼児期の自然体験活動の推進の一助となると考えられる。

### (2) 課題

- ・ 参加者の確保が年々難しくなっている。今後も保育者養成校や教員養成系の大学などとの連携を模索し、継続的に自然体験活動指導者の養成を行うことができる仕組みを構築する必要がある。

【作成】事業推進係員 杉本守